

9月 定例議会を9月5日から15日まで開きました。

補正予算や協約の締結などについて慎重に審議しました。ここでは主なものを紹介します。（各議案の審議結果は6ページに掲載しています。）

協約変更

呉市と海田町との
連携中枢都市圏形成に
係る連携協約を締結

呉市を取り巻く4市4町が共通する課題の解決や地域資源を連携して活用するなど、地域に密着した生活関連機能サービスの向上に取り組みための連携協約の締結について議案が提出され、賛成多数で可決しました。



協約を結ぶ4市4町

人事案件

反対討論

広島市に囲まれている本町が呉市と協約を結ぶ必要性があるのか。道州制への迂回路として自治体の数を減らして効率化を図ろうとしているのではないか。

佐中十九昭 議員

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員の佐々木登貴子さんの任期満了に伴い、再び佐々木登貴子さんを、また、人権擁護活動の活性化を図るため、新たに林紀子さんを推薦することについて、適任であると意見しました。

発議

「協同労働の
協同組合法（仮称）」の
速やかな制定を求める
意見書案を採択

内容

「協同労働の協同組合」は、働くことを通じて、「人と人のつながりを取り戻し、コミュニティの再生をめざす」活動を続けている。ワーカーズコープなど10万人以上が長い歴史の中で働いてきており、その中で「自分たちの働き方に見合った法人格がほしい」、「労働者としての法的保護を受けられるような社会的認知をしてほしい」と法律の整備を求めてきた。よって、国においては「協同労働の協同組合法（仮称）」を早期に制定するよう強く要望する。

反対討論

まずは活動内容について確認し、中身を精査してから決議するべきである。

宗像啓之 議員

一般会計補正予算に
対する附帯決議

補正予算の執行に当たり、単位自治会が行う自主防災活動に対する補助金については、費用の支出はななくとも、自主防災訓練などを行っている自治会に対しても補助を行えるよう基準を拡大することを求める。



物品購入だけでなく自主防災訓練にも助成を

決算

平成28年度決算
賛成多数で認定

平成28年度の決算の認定については、決算審査特別委員会が審査を行ったのち、議場において採決しました。

この中で、一般会計の決算認定に対して反対する討論が行われましたが、採決の結果、賛成多数で認定しました。（委員会の審査内容は4～6ページに掲載しています。）

反対討論

広島市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結、後期高齢者医療と国保の保険料引き上げ、マイナンバー制度の実施がなされているため認められない。

佐中十九昭 議員

賛成討論

決算内容については適正・適法であったと認められる。

大高下光信 議員

補正予算

補正予算については、議長を除く議員15人で構成する予算委員会を9月7日に開催し、審議しました。この審査の後、議場において採決を行った結果、全会一致で原案どおり認めることになりました。なお、この補正予算の執行に当たり、単位自治会が行う自主防災活動に対する補助金についての附帯決議案を全会一致で採択しました。（右のページ参照。）

主な補正内容（Q&Aは予算委員会での質疑）

産婦健康診査費用の助成
139万円

かいた版ネウボラの 일환として、産後うつの早期発見などのために産後2週間と1か月を目安に健康診査の費用を助成します。

大規模建築物の耐震改修
5341万円

不特定多数の者が利用する大規模な民間建物で国の定める耐震強度の検査を行った結果、耐震強度が不足している場合に建物の耐震改修に必要な費用の一部を助成します。現在、国において町内では1か所の建物を認めています。

防災ラジオの購入
465万円

町が有償配布している防災ラジオについて、自治会からの購入希望が当初の見込みを上回ったため、追加購入します。

単位自治会補助金のうち、防災割について訓練をした自治会には補助をせず、防災ラジオを購入するだけの自治会に補助をすることは、補助金の趣旨に反するのではないか。

町が自治会連合会に対して補助し、連合会が各自自治会に補助するため、連合会に対して議会の意見を伝える。

補助金交付要綱に問題がある。要綱を変更すべきでは。検討する。